

ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは、その大半が、
彼がエラール製のピアノを手に入れる1803年より前に作曲されています。
まさに、5オクターヴのヴァルター製ピアノに相応しい8曲のソナタを、
本学所有の1795年ヴァルターモデルのフォルテ・ピアノを用いて、
3回シリーズで作曲された当時の響きを探ります。

PROGRAM

ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 作品12-1

Sonate für Klavier und Violine D-Dur op. 12-1

ヴァイオリン・ソナタ イ長調 作品12-2

Sonate für Klavier und Violine A-Dur op. 12-2

ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品12-3

Sonate für Klavier und Violine Es-Dur op. 12-3

2023 **6.15** THU. 18:30開演
[18:00開場]

愛知県立芸術大学 室内楽ホール

入場無料 | 全席自由 | 事前予約不要

※未就学児の入場はご遠慮ください

ベートーヴェンの ヴァイオリン・ソナタ

第1回

Beethoven's
Violin Sonata



桐山 建志 [ヴァイオリン]

東京藝術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール(山梨)第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。レコード芸術特選盤「シャコンヌ」を皮切りに多数のCDをリリース。ペーレンライター社より星野宏美氏との共同校訂「メンデルスゾーン:ヴァイオリン・ソナタ全集」の楽譜を出版。「オーケストラ・シンポジウム」や「松本パッサハ祝祭アンサンブル」などのコンサートマスター、「エルデーデイ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者としても活躍。チェンパロの大塚直哉と共にデュオ・ユニット「大江戸バロック」を主宰。現在、愛知県立芸術大学教授、フェリス女学院大学講師。



安成 紅音 [フォルテ・ピアノ]

福岡県出身。愛知県立明和高校音楽科、愛知県立芸術大学を経て、同大学院修了。学内選抜により様々な演奏会に出演。同大学第52回定期演奏会にて、元ジュネーブ音楽院室内楽科教授、故ジャン=ジャック・パレ氏と共演(4手連弾)。修了論文を第133回日本音楽学会中部支部定例研究会にて発表。静岡音楽館AOI「ピアニストのためのアンサンブル講座」第15期受講生として、室内楽を野平一郎、漆原啓子、向山佳絵子の各氏に師事。これまでにピアノを吉永哲道、廣澤純子、西川秀人、山本光世、北住淳の各氏に師事。現在、器楽・声楽伴奏、室内楽を中心に演奏活動を行っている。

お問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

☎0561-76-2873

(受付時間 平日 9:00~17:30)

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114 URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分



●主催:愛知県立芸術大学 愛知県立芸術大学 ●企画:愛知県立芸術大学 社会連携センター

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。